

高浜市議会だより

びいふる



ちやうどいいまち
ちよっといいまち
これまでもこれからも
2020高浜市50th



高浜小学校体育館 メインアリーナ (ステージ側)



高浜小学校体育館 メインアリーナ
(移動観覧席を出した様子)



地域交流施設「たかびあ」内 サブアリーナ

新しい高浜小学校に併設された、旧市民センターのホール機能と旧高浜市体育センター機能。機会があればぜひ予約して使用してみてくださいね。

contents
目次

- P2～P7……………10月臨時会・11月臨時会・12月定例会：議案の内容・議案審議、議員の態度（採決結果）
- P8～P12 ……市政のここが聞きたい（一般質問）
- P12……………新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る市議会の対応
- P13～P14 ……議会中継のご案内、3月定例会のご案内（日程）、編集後記

議案等の件名・主な内容 及び 質疑・賛成、反対意見や各議員の態度

議案等の件名・主な内容 及び 質疑・賛成、反対意見や各議員の態度			会派名	市政クラブ	公明党	新 政 会	共 産 党	青 政 会	高 志 ク ラ ブ	高 浜 市 民 の 会											
種類番号	件 名	議案等の主な内容	議員氏名	荒川 義孝	神谷 直子	杉浦 康憲	神谷 利盛	柳沢 英希	杉浦 辰夫	北川 広人	鈴木 勝彦	今原 ゆかり	小嶋 克文	長谷川 広昌	黒川 美克	内藤 とし子	柴田 耕一	岡田 公作	倉田 利奈		
10月臨時会 第5回(会期：10月28日・1日間) 議案等			結果	○=賛成 ●=反対 欠=欠席																	
議第68号	令和2年度高浜市一般会計補正予算(第10回)	歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ5,552万1,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ228億143万8,000円とする。 【主要新規事業】新型コロナウイルス感染症対策推進事業、新型コロナウイルス感染症対策企業支援事業	問 新型コロナウイルス感染症対策企業支援事業にて、この時期に対象事業者に対し支援を決めた理由は。 答 感染拡大防止措置を講じていながら、これまで市からの財政支援が行き届いていない店舗・施設を対象としている。補助金を活用し引き続き感染拡大の抑止に、努めていただくことを目的に実施。	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
11月臨時会 第6回(会期：11月30日・1日間) 議案等			結果	○=賛成 ●=反対																	
議第69号	高浜市議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について	市議会議員の期末手当の支給割合を引き下げる。 令和2年12月期について100分の170を100分の165に改定する。令和3年度適用分について、6月期は、100分の170を100分の167.5に、12月期は100分の165を100分の167.5に改定する。	質疑なし	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第70号	高浜市特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部改正について	常勤特別職の期末手当の支給割合を引き下げる。 令和2年12月期について100分の170を100分の165に改定する。令和3年度適用分について、6月期は、100分の170を100分の167.5に、12月期は100分の165を100分の167.5に改定する。	質疑なし	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第71号	高浜市職員の給与に関する条例等の一部改正について	一般職職員及び任期付職員の期末手当の支給割合を引き下げる。 再任用職員以外の職員について、令和2年12月期について100分の130を100分の125に改定する。令和3年度適用分について、6月期は、100分の130を100分の127.5に、12月期は100分の125を100分の127.5に改定する。 その他、任期付採用職員の支給割合を引き下げる。	問 今回のような給与の引き下げは、過去にあったのか。なぜ、この時期なのか。 答 期末手当のマイナスの勧告は、10年ぶりになる。通常は8月上旬だが、今回のコロナの影響で、10月になった。	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	●
意第2号	防災・減災・国土強靱化対策の継続・拡充を求める意見書	①令和2年度末期限の「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」の更なる延長と拡充を行うこと。 ②この対策に伴う地方負担分については、令和2年度末が期限とされている「防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債」を延長するなど、十分な地方財政措置を確実に講ずること。 ③災害関連予算の確保や補助対象の拡大を図るとともに、国土強靱化のための財源を安定的に確保するための措置を講ずること。 以上、地方自治法第99条の規定により国に意見書を提出する。	質疑なし	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12月定例会(会期：12月3日～12月23日・21日間) 議案等			結果	○=賛成、採択 ●=反対、不採択 △=趣旨採択																	
諮第2号	人権擁護委員の推薦について	現任委員の神谷章一氏が令和3年3月31日で任期満了となるので、再度推薦する。 参考:委員定数5人、委員任期3年	質疑なし	異議のない旨 答申	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第72号	高浜市税外収入に係る延滞金に関する条例等の一部改正について	地方税法の一部改正に伴い、税外収入に係る延滞金に関する条例を初め、4つの条例について特例基準割合を延滞金特例基準割合に改めるなど、用語の整理を行う。	問 市税外収入延滞金は、下水道、介護保険、後期高齢者等の他に。 答 使用料、手数料、分担金、加入金等が対象となる。	可決	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第73号	高浜市国民健康保険税条例の一部改正について	地方税法施行令の一部改正に伴い、国民健康保険税の減額に係る所得の算定における基礎控除額相当分の基準額を改定する。 一定の給与所得者等が1人の世帯については43万円。一定の給与所得者等が2人以上の世帯については、43万円に給与所得者等の数から1を減じた数に10万円を乗じて得た金額を加算した金額とする。	質疑なし	可決	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第74号	高浜市精神障害者医療費支給条例の一部改正について	障害等級1級または2級の精神障害者保健福祉手帳の交付者で、精神通院医療に係る自立支援医療受給者証の交付を受けている者に対する医療費助成の範囲を全疾病に拡大する。	問 すでにこの制度を条例化している愛知県内の自治体は。 答 本市を除いた全ての自治体で条例化。 問 所得制限を設けている自治体はあるか。 答 名古屋市のみ。	可決	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第75号	高浜市市制施行50周年記念事業基金の設置及び管理に関する条例の一部改正について	新型コロナウイルス感染症の影響により、市制施行50周年記念事業の実施期間を令和3年度まで延長することに伴い、当該基金の廃止期日を延期する。	問 令和4年3月31日に本条例は効力を失うとなっているが、事業の先延ばしはしないということか。 答 以降の先延ばしは現在考えていない。	可決	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※杉浦辰夫議員は、議長職のため決権はありません。

議案等の件名・主要内容及び質疑・賛成、反対意見や各議員の態度

議案等の件名・主要内容		議案等の主要内容	主な質疑及び賛成・反対意見等 議案は質疑を優先して掲載。 ※委員会で討論意見がないものは本会議の賛成・反対討論。	会派名	市政クラブ	公明党	新国会	共産党	青政会	高志クラブ	高浜市民の会											
種類番号	件名			議員氏名	荒川 義孝	神谷 直子	杉浦 康憲	神谷 利盛	柳沢 英希	杉浦 辰夫	北川 広人	鈴木 勝彦	今原 ゆかり	小嶋 克文	長谷川 広昌	黒川 美克	内藤 とし子	柴田 耕一	岡田 公作	倉田 利奈		
12月定例会(会期：12月3日～12月23日・21日間) 議案等				結果	○=賛成、採択 ●=反対、不採択 △=趣旨採択																	
議第76号	第6次高浜市総合計画基本構想及び基本計画(後期)の変更について	次期、第7次総合計画の策定期間を延期することに伴い、今期、第6次総合計画基本構想及び基本計画後期の期間を令和4年度まで延長する。	問 何故、変更するのか。 答 延長する理由は、新型コロナウイルスの影響もあり、市民の声をしっかり聞いていくという部分は外せないで、1年延長する。	可決	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第77号	愛知県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び愛知県市町村職員退職手当組合規約の変更について	愛知県市町村職員退職手当組合の組織団体である、尾張市町交通災害共済組合の脱退に伴い、組合規約を変更する。	質疑なし	可決	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第78号	高浜市立公民館の設置及び管理に関する条例等の一部改正について	高取公民館の高取ふれあいプラザ化に伴い、所要の規定の整備を行う。	問 コミュニティプラザに転用すると貸館業務だけになるのか。 答 プラザ化したら社会教育事業ができなくなるということは考えていない。住民の皆さんで考えていく。	可決	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	
議第79号	高浜市やきもの里かわら美術館の指定管理者の指定の変更について	指定管理期間の終期を令和5年3月31日までとし、2年間延長する。	問 期間を延長する理由は。 答 機能移転先候補として、検討時間、準備時間等考慮し、効果的かつ現実的に考え、図書館指定管理期間と合わせた。 問 指定期間延長に伴う手続き等については。 答 通常の募集と同じ、資格要件等の一次審査、運営方針、体制、事業計画等提案内容を評価する二次審査、選定評価委員会によるヒアリング審査等実施している。	可決	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	●	
議第80号	高浜市立図書館及び高浜市立郷土資料館の指定管理者の指定の変更について	指定管理期間の終期をそれぞれ令和5年3月31日までとし、1年10ヶ月間延長する。	問 期間を延長する理由は。 答 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、在り方検討に関して市民の皆様との意見交換の場を、設けることができなかった。機能移転の検討時間・準備期間を確保するために、指定期間を延長する。	可決	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	
議第81号	高浜市生涯学習施設等の指定管理者の指定の変更について	高取公民館の廃止に伴い、指定管理期間の終期を令和3年3月31日までとし、3年間短縮する。	問 高浜市総合サービスへの指定管理委託料と比べて、委託料は。 答 まち協への委託管理の方が下がると試算している。	可決	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	
議第82号	事業契約の変更について	高浜小学校等整備事業の契約金額について、二期工事分の基準金利の確定による割賦手数料の減に伴い、契約金額を減額する。 ○2,898万3,437円減額し、変更後49億3,322万6,874円。	質疑なし	可決	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第83号	令和2年度高浜市一般会計補正予算(第11回)	歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ2億7,561万9,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ230億7,705万7,000円とする。 ○繰越明許費:港小学校校舎増築工事監理業務委託事業、562万1,000円。港小学校校舎増築工事事業、1億3,970万円。 ○債務負担行為補正:RPAシステム利用料、令和3年度～7年度、1,980万円。女性文化センター空調機器更新工事設計業務委託料、令和2年度～3年度、275万円。他3件。 ○地方債補正:小学校施設改修事業、8,340万円増。中学校施設改修事業、740万円減。 【主要新規事業】アシタのたかま研究事業、ICT推進事業、小学校維持管理事業、中学校維持管理事業	問 民生費補助金の増額の内容は。 答 全体で1,471万5,000円。医療の高度化が進む中で、1件当たりの医療費が増加した。 問 新型コロナウイルス感染症対策協力金交付事業費等の実績数は。 答 予定は271件だったが、実際の給付は177件。 問 高齢者安全運転支援装置促進事業費、57万6,000円の内容は。 答 障害物検知機能付きが、3万2,000円で30台分。付いていない方が1万6,000円で12台分。 問 市制50周年記念事業費の増額の内容は。 答 オリジナルの食べ物の開発や、鬼滅の刃と鬼師のコラボ事業での、ノベルティ追加による委託料の増額。 問 小学校費と中学校費での手洗い場を自動水栓化する目的は。 答 感染防止という観点から、蛇口に接触しなくても手が洗える為。	可決	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第84号	令和2年度高浜市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3回)	歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1,680万4,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ33億1,375万9,000円とする。	問 保険給付費等交付金の内容について。 答 一般被保険者高額療養費の県支出金で、高額療養費の実績見込みに伴う増額。	可決	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第85号	令和2年度高浜市介護保険特別会計補正予算(第3回)	○保険事業勘定:歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ9,550万8,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ28億8,272万4,000円とする。 ○介護サービス事業勘定:歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ130万7,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ5,495万5,000円とする。	質疑なし	可決	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第86号	令和2年度高浜市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2回)	歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ155万3,000円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ5億5,302万2,000円とする。	質疑なし	可決	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第87号	令和2年度高浜市水道事業会計補正予算(第2回)	収益的収入及び支出の水道事業収益を15万2,000円増額し、総額8億2,645万6,000円とし、水道事業費用を29万8,000円増額し、総額8億5,288万8,000円とする。 他、議会の議決を経なければ流用できない経費の補正。	質疑なし	可決	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

※杉浦辰夫議員は、議長職のため表決権はありません。

議案等の件名・主要内容及び質疑・賛成、反対意見や各議員の態度

議案等の件名・主要内容及び質疑・賛成、反対意見や各議員の態度			会派名	市政クラブ	公明党	新国会	共産党	青政会	高志クラブ	高浜市民の会										
種類番号	件名	議案等の主要内容	議員氏名	荒川 義孝	神谷 直子	杉浦 康憲	神谷 利盛	柳沢 英希	杉浦 辰夫	北川 広人	鈴木 勝彦	今原 ゆかり	小嶋 克文	長谷川 広昌	黒川 美克	内藤 とし子	柴田 耕一	岡田 公作	倉田 利奈	
12月定例会(会期:12月3日~12月23日・21日間) 議案等			結果	○=賛成、採択 ●=反対、不採択 △=趣旨採択																
議第88号	令和2年度高浜市下水道事業会計補正予算(第1回)	収益的収入及び支出の下水道事業収益を24万2,000円減額し、総額9億6,833万7,000円とし、下水道事業費用を138万6,000円減額し、総額9億797万9,000円とする。資本的収入及び支出の資本的支出を353万6,000円増額し、総額15億8,599万9,000円とする。他、議会の議決を経なければ流用できない経費の補正。	質疑なし	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第89号	令和2年度高浜市一般会計補正予算(第12回)	歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ2,152万3,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ230億9,858万円とする。 【主要新規事業】ひとり親世帯臨時特別給付金支給事業	問 受給者数は。 答 376世帯。 問 前回の臨時特別給付金受給対象者でない世帯が、この間に対象者となった場合は、支給されるのか。 答 申請していただいて支給する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳第4号	看護師の全国を適用地域とした特定最賃の新設を求める陳情	国に、看護師の賃金の底上げをはかり、安全・安心の医療・看護体制を確保するために、全国を適用対象とした看護師の最低賃金を新設することを求める意見書の提出を求める。	反対 安易な賃上げや最低賃金の創設により、病院や診療所などの経営悪化につながりかねない。人手不足、人材確保が賃金だけでは解消できるものではなく、また、全国一律では財源的にとて厳しい。 賛成 地域間格差が大き過ぎて賃金水準が引き上げられず、看護師の地域偏在や離職者増を引き起こしているため、医療・介護現場で働く労働者の改善は国の責任で行われるべき。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	○	○	
陳第5号	介護従事者の全国を適用地域とした特定最賃の新設を求める陳情	国に、介護従事者の賃金の底上げをはかり、安全・安心の介護体制を確保するために、全国を適用対象とした介護従事者の最低賃金を新設することを求める意見書の提出を求める。	反対 国はこれまでも、賃金向上につながる政策、処遇改善を行ってきた。一律に最低賃金を設ける必要はない。 賛成 介護施設等の安全、安心な職員体制や労働者の処遇の確保は、国の責任で行われるべき。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	○	○	○	○
陳第6号	介護・福祉など社会保障の施策拡充についての陳情	市の福祉施策の充実を求める。国に障害者・児の地域生活拠点の整備、福祉人材の報酬単価引き上げ等を求め、国及び県に新型コロナウイルス感染症に係る支援の強化などを求める意見書の提出を求める。	反対 第7期介護保険料は、所得段階は県内トップの17段階で、低所得者段階の倍率も国の基準以下に設定している。多岐にわたり、高浜市では十分配慮がされている。 賛成 市民の命と暮らしを守るため、安心して介護保障がうけられるよう、福祉施策の充実、施策拡充を求めている。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	○	●	○	△	△
陳第7号	福祉・医療など社会保障の施策拡充についての陳情	市の福祉施策の充実を求める。国に患者窓口負担増の中止、国保の国庫負担引き上げ、傷病手当・出産手当の創設等を求める意見書の提出を求める。県に18歳年度末までの医療費窓口無料の実施、精神障害者医療費助成の拡大など、市町村国保への県補助金の復活などを求める意見書の提出を求める。	反対 市独自の一般会計の繰り入れを増やすことは、市の財政を圧迫する。 賛成 意見陳述の通り県下3番目の保険料の高さと市独自の繰り入れは県内45位では乖離している。18歳までの子どもは当面一般会計による減免をしてほしい。協会けんぽと比べて所得に対する割合が約2倍では負担が重い。	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	○	●	○	△	△	△
陳第8号	安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための陳情	国に、医療・介護・福祉に十分な財源確保を行うこと、公的病院統合再編など見直し医療体制の充実を図ること、医師・看護師・医療技術職・介護職等の増員、公衆衛生行政の拡充、社会保障の国民負担軽減などを求める意見書の提出を求める。	反対 安全・安心の医療・介護体制の確保に、医師、看護師、介護職等増員とあり、患者、利用者等の負担は軽減とある、矛盾している。 賛成 医療、介護、福祉、公衆衛生施策の拡充は、すぐにもやる課題と考える。	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	○	●	○	○	○	○	○
陳第9号	サブアリーナの使用規約に「分割使用」の設定追加をお願いする陳情	地域交流施設のサブアリーナ使用料について、分割使用の設定を追加することを求める。	反対 利用される方の意見を伺いながら、利用状況の調査後に検討すべき。 賛成 供用開始前に市民のニーズに応じた柔軟な利用体制を設定すべき。	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※杉浦辰夫議員は、議長職のため表決権はありません。

議会傍聴自粛のお礼とお願い

新型コロナウイルス対策に係る議会傍聴自粛のお願いに、皆さまのご理解・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。
今後も感染拡大防止のため、傍聴自粛のお願いをする必要がございます。引き続きご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

市政のここが聞きたい!!

一般質問

一般質問は、定例会で議員が議案に関係なく、市政全般について市の方針をたずめるものです。
なお、掲載文は、議員本人作成(文責)の原稿です。





今原 ゆかり 議員

乳幼児健診の充実について

問 厚生労働省は、「3歳児健康診査における視力検査の実施について」の中で、3歳児健康診査において強い屈折異常（遠視、近視、乱視）や斜視が見逃された場合、必要な治療が遅れることで、十分な視力が得られない場合があることを指摘している。目の疾病や異常を発見するために乳幼児健診では、どのような検査が行われているのか。

答 医療機関で行う1か月児健診では、光の凝視や追視、目の動きや目の位置など、医師が保護者からの聞き取りと、子どもの反応から発達に異常がないかを確認する。3歳児健診では、ランドルト環を使う視力検査を健診前に家庭で保護者に実施してもらう。

問 3歳児健診のこの時期は、視覚異常に気づき、必要な治療を開始し、生活に必要な視力を獲得するための貴重な機会である。視力検査ができない子どもは、どのくらいいるのか。

答 保護者が忘れてしまったり、子どもの発達の度合いにより、視力検査が未実施なのは2割ぐらいいる。この場合、5歳児健診の前に保護者に実施してもらうようにしている。

問 「日本小児眼科学会」は、3歳児以上の子どもへの「手持ち自動判定機能付きフォトスクリーナー装置、スポットビジョンスクリーナー」による屈折検査を推奨している。ぜひ、3歳児健診での導入を検討してほしいと思うが。

答 この検査は、視覚異常を早期に発見し、必要な治療を開始できると考える。導入を前向きに検討していきたい。

高齢者等の見守りについて

問 高齢者の独り暮らしや高齢者夫婦のみの世帯が増えている。見守りについて、具体的にどのようなサービスがあるのか。

答 配食サービスによる安否確認や民生委員の定期訪問など。また、緊急通報装置の設置では、もしもの時に緊急ボタンを押すことで24時間対応の看護師資格を持つオペレーターへ繋がり、救急要請や緊急時の協力員へ連絡が入る仕組みになっている。



倉田 利奈 議員

コロナウイルス感染拡大への対応について

問 感染者又は濃厚接触者で自宅待機となった方への買い物支援等はどのようなか。

答 県が自宅への配食サービスを行っている。また、社会福祉協議会が自宅療養者の生活支援をしている。

問 家庭において、介護者が感染者となった場合、検査で陰性の要介護者への対応は。

答 患者の状況を踏まえて保健所の指示をいただきながら、要介護者に合った支援を行う。

問 保護者が感染者となった場合、検査で陰性となった子どもへの対応は。

答 保健所から刈谷児童相談センターへ連絡が入り、一時保護で対応することもある。

問 診療検査を受けられる診療検査医療機関は、市内に現在7医療機関ある。そのうち公表している医療機関もあるが、高浜豊田病院の対応は。

答 市内では、3医療機関が公表されているが、高浜豊田病院は、公表していない。

問 昨年度高浜市は、高浜豊田病院へ約3億円の税金を投入している。また、地域医療の発展に貢献する病院とうたわれているので、診療検査医療機関として公表し、積極的に検査を行うべきと考える。豊田会の理事として病院経営に関わることができる市長の考えは。

答 補助金は、移転新築等に対するもので、新型コロナウイルス感染症対策のためのものではない。感染症対策は、病院として判断することで、市から要請することはない。

公共施設について

問 高浜市体育センターでは、予約のない時間帯に小中高生が無料で利用できる一般開放事業があったが、高小のメインアリーナでも引き続き行うことができるか。

答 サブアリーナではおこなうが、メインアリーナについては、必要があれば検討する。

問 アリーナの予約が重なった場合、たかはまスポーツクラブが利用調整することになっているが、調整ルールを明文化すべきでは。

答 調整結果を見て、市が許可を出していく。



鈴木 勝彦 議員

令和3年度予算編成に向けた市政クラブの政策提言について

問 令和3年度予算編成方針について。

答 新型コロナウイルスの影響の長期化を見据え、限られた経営資源を効果的・効率的に活用し、「新たな日常」といった社会変容に対応し、「新たな日常へのチャレンジ予算」と位置付けて予算編成に臨む。

「新たな日常」といった社会変容に対応し、「新たな日常へのチャレンジ予算」と位置付けて予算編成に臨む。

問 基本的な考え方について。

答 (1)「新型コロナウイルスの影響への対応」では、市民の安心安全を最優先に影響を的確に把握した上で、スピード感を持って対応する。(2)事業手法の多様化により、事業を見直し財源確保を図ると共に、年々、上昇傾向にある経常的経費の削減に取り組む。(3)「重点取組事項への財源配分」では、令和3年度に実施予定事業の方向性を、市長、副市長と意見交換を行い、重点的に取り組む事業や新

型コロナ感染症拡大の影響に対する事業に、優先的に予算配分を行う。

問 具体的な事業や施策内容は。

答 重点取組事業4つを中心に、予算編成を行っている。

(1)新型コロナウイルス感染症の対策事業では、ワクチン予防接種業務に関する経費や避難所の運営に必要な感染症対策用物資の購入費。(2)GIGAスクール構想に基づいてICT教育と学校トイレの洋式化の推進や定型業務である財務に関する業務の合理化を図る。(3)高取・吉浜小学校の大規模改造事業の実施設計や、体育センターの解体、市営湯山住宅の屋上防水改修工事。(4)待機児童対策では、一部の家庭的保育事業を小規模保育事業に切り替え、3歳未満児の定員の拡充を考えている。

令和7～8年度までは、特に厳しい財政運営が見込まれる。コロナ禍において、市民生活や地域経済を支えるための必要な事業、まちづくりや人づくりに資する事業への投資、公共施設老朽化対策など、限られた財源のなかで、メリハリをつけて、4つの重点取組事業を中心に、予算編成を行っている。



黒川 美克 議員

高浜市公共施設あり方計画について

高浜市役所本庁舎整備事業について

問 光熱水費については、リース費用より減額したが、どのぐらいのメリットが出たのか。

答 年間で500万円ほどのメリットが出ている。

問 庁舎のリース期間の見直しと維持管理・運営費を市が直接支払いにする考えはないか。

答 リース期間20年については、AIやICTといった情報技術の進歩、デジタル化による行政サービスの在り方を見越して時代の状況に柔軟に対応するほか、一般的に設備の耐用年数が15年から20年であること等を踏まえて設定した。

維持管理・運営を市の直営に戻すことについては、事業者は全体事業費の中で施設整備費や維持管理運営費を調整して提案し、その提案に基づき契約している。契約の一部を破棄することにもなりかねないので直営に戻す考えはない。

勤労青少年ホーム跡地活用事業について

問 指名競争入札にて9,666万円で落札した業者がいたにも関わらず、負担金精算金額では1億6,070万4,000円、委託料では3,597万6,854円の合計1億9,668万854円、1億円も高くなった理由は。

答 当初積算した金額、入札金額、また協定書の額、協定後の支払金額、協定書締結に至る経緯などの質問は、裁判所に答弁をしたいと思っているので、この場での答弁は差し控える。

問 負担金の積込み業務の立米数は。

答 見込み数量が3,350立米、実績数量が2,675立米。

問 積込み業務量は2,675立米だが、どのように検査をしたのか。

答 実績の報告書類、現場から廃棄物の土がなくなっていることを確認した。

問 換算係数は、委託料は1.874、負担金は2.00となる。換算係数がなぜ違うのか。

答 テニスコートのすき取りとプールと建物の建設から出た土ということで、換算係数が違うということ。



内藤 とし子 議員

高浜市公共施設総合管理計画 について (図書館について)

問 高浜市公共施設総合管理計画総括はいつ行かうか。

答 当初5年間の事業等、議会に説明している。40年の長期ビジョンである。

問 いちごプラザや高取幼稚園跡地はどうするのか。

答 いちごプラザは運営者からどこがふさわしいか意見を頂いている。高取幼稚園跡地は地元団体が考えを持っているとのことだが、具体的になく解体・譲渡の予定。

問 図書館の移転案が出された。図書館法では人間は情報、知識を得ることによって成長し、生活を維持していくことができるもの。また、文化的な潤いのある生活を営む生活の権利を有するとされている。図書館の蔵書冊数は現在8万冊。それがプランでは、1.いきいき広場案8,600冊、2.かわら美術館案14,000冊、3.2つの併用案17,000冊となる。今でも基準冊数は70%、延床面積は基準面積の25%。環境面

などふさわしくないと考えるが。

答 最近の文化庁の図書館をめぐる動きは、電子データ化が進み、ハードをめぐる考え方は機能を受け入れる館をどう考えるかで、市のコンセプトは大人は自己研鑽のため居心地の良いところ、幼児は絵本を楽しむ空間、児童はワイワイガヤガヤ集まると考えており追求していく。

問 コロナで市民に意見を聞けずというが、高浜小学校に複合化しない計画に代わった時点で、市民に意見を聞けなかったのか。一部の利用者だけでは市民の意向はつかめられない。まちづくりも重要と考えるが、図書館は市民にどうするといいいのか意見を聞くと、高浜分院が空いているのだから、そこを利用するとよいという意見が多くを占める。高浜豊田病院の補助金から分院の解体費を引いて、高浜市が運営していく方法で利用していけば、図書館としてだけでなく他の施設も複合化でき、市も活性化できると考えるがどのように考えるか。

答 刈谷豊田総合病院旧高浜分院は民間の施設であり、市が図書館として利用する考えはない。1月1日号より広報で図書館の連載を行い市民の皆さんに考えていただく。



神谷 直子 議員

教諭の働き方改革について

問 文部科学省から部活動改革が示された。考え方は。

答 文部科学省からの方針は、1.休日に教師が部活動の指導に携わる必要がない環境を構築する。2.休日において部活動を地域の活動として実施できる環境を整える。

3.令和5年度から休日の部活動を段階的に地域に移行していく。とあり部活動改革の方向性を決定していきたい。

問 GIGAスクール構想で、県内の自治体よりいち早く1人1台タブレットを導入し、各教室に電子黒板の配備が完了。GIGA スクール構想が働き方改革につながるか。

答 授業準備の負担軽減、教材のデータ共有、授業の効率化、オンラインの研修、会議の実施により、働き方改革につながると捉えている。

子ども達を取り巻く食の環境について

問 「食育について」平成17年に食育基本法が

制定され、子どもを中心に展開。今後は。

答 こども食育ガイドラインにあるように積み重ねたノウハウを活かし継続的に実施する。

問 「給食について」近隣市ではセンター方式を導入。高浜市は自校式で給食を提供。今後の大規模改修工事時の対応は。

答 給食調理室を設置するには、学校給食衛生管理基準で現在の建物の改修だけでは、満たさない。大規模改修に合わせ、敷地内に建てる。

手作りの温かい食事・調理人への感謝の気持ち・栄養教諭が意見を反映させやすいなど、子ども達にメリットのある自校式を守る。

問 「こども食堂について」経緯と支援は。

答 平成27年より生活困窮家庭の子どもを対象に学習支援事業を開始し、栄養バランスのとれた食事が必要であると考え、こども食堂を開始。市内の15団体が協力。支援は、「こども食堂支援基金」を設立し、寄付金を募って、そこからボランティア団体に奨励金で対応。

問 学習支援事業以外でのこども食堂は。

答 南部まちづくり協議会が「すこやかサタデー」を立ち上げ、夕食支援をしている。他の団体が開設するなら支援していきたい。



荒川 義孝 議員

令和3年度予算編成に向けた
市政クラブの政策提言について

第6次高浜市総合計画
アクションプランについて

問 全職員が政策、施策、事業目標を共有し、目標1の「まちへの想いを育み、いつまでも住みたいと思える

まちをつくります」を実現するための取り組みは。

答 研修機会を設けての共有については、これまで、公共施設の再配置などの重要な政策については必要な都度実施してきた。また、各部局長が作成する部局長の執行宣言や各グループリーダーが作成する業務実施方針等について、所属職員と面談を行い共有する機会を設けている。

問 「地域で活躍する職員」をどのように育成していくか。

答 育成には2つの視点が重要であると考えている。1つは、職員が地域との関係性を築くことにある。もう1つは市の課題を認識し、課題

解決に必要なノウハウを身に付けることにあり、広い視野や視点を持つとともに、政策、施策、事業目標等を理解することが大切である。

問 目標3の「学び・文化・スポーツの輪を広げ、まちのチカラを育みます」において、「プラチナ大賞」の優秀賞、特に地域人財育成賞を受賞した「たかはま夢未来塾」の現在までの活動の総括と今後の可能性については。

答 未来塾での経験は、学業や職業選択への影響を与えているだけでなく、卒業生が未来塾のサポーターとして活躍する機会も増え、「学びを通して培った知識や技能を活かす」といった本市の生涯学習が目指す「学びの循環」も見られるようになった。今後も、市民や事業者の方々の力を活かしながら、子どもたちの生きる力につながる企画に取り組んでいきたい。

問 目標6のまちを元気にする方策として、観光政策をどう展開をしていくか。

答 限られた資源だけではなく、鬼師と鬼滅の刃の「鬼コラボ」のように、魅力ある外部のヒト、モノ、コトとコラボを組むことの有効性。また、長期間にわたって足を運ばせるなどの視点を取り入れながら事業を展開していく。



杉浦 康憲 議員

『令和3年度予算編成に
向けて』について

問 地域防災力を推進するため、本年度の避難所検討会の実施状況は。

答 1月より「高浜小学校」及び「たかぴあ」等を対象に実施予定。

問 交通安全対策について

令和3年度に予定している新たな事業は。

答 県において、自転車用ヘルメット購入費に対する市町村への補助金交付に向けた準備が進められているので取り組んでいきたい。

問 住み慣れた自宅で安心して暮らし続けることは市民の誰もが願うことで、それを支える医療と介護の連携が重要だが、現在の取り組み状況は。

答 医療機関や介護関係機関が連携し、多職種協働で医療と介護を一体的に提供できる体制として、ICTを活用した「えんjoyネット高浜」の運用を開始している。本年度内に、愛知県内全ての医療機関が利用できるよう進めており、幅

広く支援の輪が広がっている。

『投票率の向上』について

問 期日前投票は、4回の市議選で約6%投票率は上昇。更なる投票率の向上に向けて、移動期日前投票所や共通投票所の設置、期日前投票所の増設の考えは。

答 期日前投票所の市役所も市域のほぼ中央、市内11か所の投票所も移動しやすい距離にあり、増設の考えはないが、引き続き動向を注視していく。

問 投票のしやすさ向上の為、記号式投票（あらかじめ候補者が書かれた投票用紙に、「○印」などを記す投票方法）の導入の考えは。

答 期日前投票や指定病院等での不在者投票は、制度上これまでと同じ自書式の投票用紙が用いられる。市議会議員一般選挙のように候補者が多い場合、投票用紙に印刷する氏名が小さくて見にくくなる心配もある。

現在のところ記号式投票を導入する考えはないが、有権者の意思を反映させやすい方法として、他市の状況も参考にしながら、研究を行っていきたい。



神谷 利盛 議員

高浜市市政施行50周年 記念事業

「鬼師」と「鬼滅の刃」との コラボ企画事業について

問 この企画の目的は。

答 コラボすることで、
①「鬼師」の技術をPRし、
当市の魅力を全国に発信す

る。②市外から人を呼び込み、当市のファンを増やす。③まちへの愛着を高める。

問 いつから検討を始めたのか。

答 平成30年6月14日鬼師との検討会から。

問 具体的な取組み内容は。

答 ①企画のシンボルとして、鬼滅キャラクターの瓦モニュメント制作・展示。

②コラボ瓦制作の体験ワークショップ。

③コラボ瓦グッズの販売。

④市内を回遊するデジタルスタンプラリー。

問 取組み内容の経過報告を。

答 ①来訪者数の把握はできていないが、土日の来訪者は多数。

②11月／定員150名程度に対し、申込者は430件。12月／7,500件。

③12月6日時点で、約3,600点の関連グッズの販売。

④11月23日時点で、約4,200名が参加。

問 メディアに取上げられた件数は。

答 11月23日現在、TV番組／21件。新聞／26件。ラジオ／6件。インターネット系メディア／180件。今後、雑誌等にも掲載予定。広告宣伝費換算で1億円超に当たるとのこと。

問 現時点での課題・反省点はあるか。

答 ①市外からの来訪者に対し、飲食店を含め市内回遊の仕組み作りに検討余地あり。

②コラボグッズをふるさと納税の返礼品にしたかったが著作権元の許可が得られなかった。

問 期間が1／3経過したところだが、現時点での取組みの成否はどのように評価しているか。

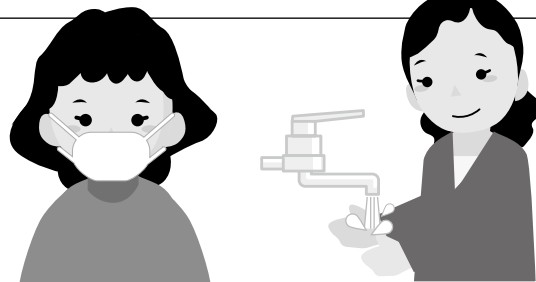
答 「鬼師／高浜」の全国への発信は高評価。市民がまちに関心を持つきっかけにはなったが、まちづくりの人材発掘までは至っていない。引き続き当市のことを行政と一緒に考え、実践できる人材の発掘をしていきたい。

新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る市議会の対応

市議会では、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、以下の対策を実施しています。ご理解、ご協力をお願いいたします。

議会運営全般

- ・マスクの着用 ・検温の実施
- ・消毒液による手指消毒
- ・換気の実施（概ね会議1時間ごと）
- ・オゾン発生器の設置
- ・傍聴自粛のお願い
- ・傍聴席の制限（39席から20席）



本会議

- ・説明員の必要最小限の出席
- ・一般質問の時間短縮等（1人あたり通常70分を40分に短縮）（発言順序ごとにおける換気の実施）
- ・発言台の使用ごとの消毒
- ・委員長報告の発言時間の短縮努力
- ・討論の発言時間の短縮努力

常任委員会

- ・説明員の必要最小限の出席
- ・委員外議員傍聴時の座席間隔の確保

議会運営委員会

- ・委員外議員傍聴時の座席間隔の確保

議会事務局

- ・時差勤務の実施

議場に行かなくても「本会議」の中継が見られます

インターネット回線に接続されているパソコンやスマートフォンから、生中継や録画中継をごらんいただけます。

- ①生（ライブ）で、本会議中継（委員会を除く）の視聴ができます。
※告示日は、本会議がないので中継はありません。
- ②本会議開始時刻は、いずれも午前10時開始予定です。
- ③録画中継は、生中継放送後、概ね2週間後に配信を予定しています。

市公式ホームページからも
リンクしています

「トップページ」→「市の紹介」→「高浜市議会」→「議会映像配信」
上記より、ご覧になりたいものを選択いただければ、見ることができます。

■PC向けアドレス

<http://smart.discussvision.net/smart/tenant/takahama/WebView/rd/council.html>

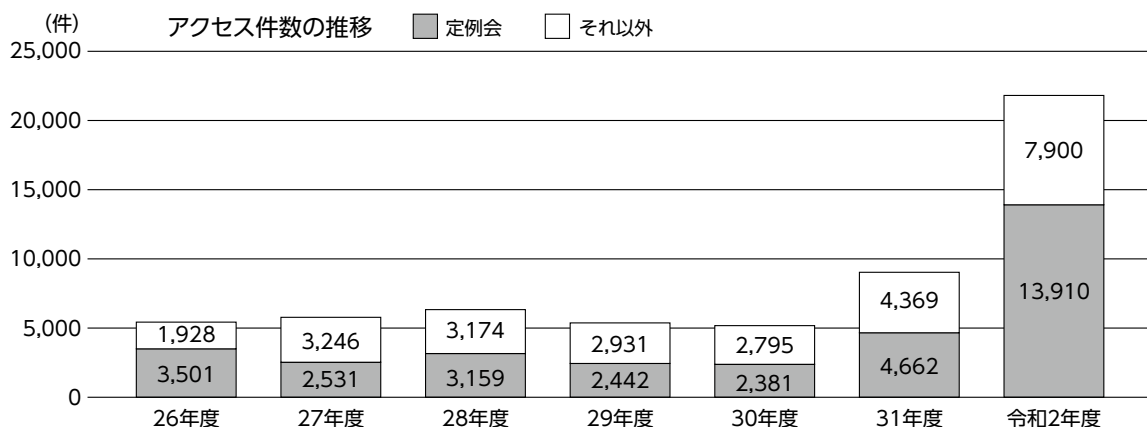
■スマートフォン向けアドレスもPC向けアドレスと同じになります。



！
ご注意ください

※視聴は無料ですが、通信料などは、皆様のご負担になります。
※動画配信ですから、契約内容によっては、通信料が高額になる場合があります。
※視聴環境に係る契約内容をよく確認・納得の上、ご視聴ください。

◆ 議会映像配信の視聴状況をお知らせします ◆



月	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	令和2年度
4			751	319	476	318	476	1,360
5			361	262	358	262	600	2,150
6	定例会	1,666	646	561	757	592	966	4,869
7		429	559	321	406	338	569	1,172
8		339	313	342	495	437	606	1,179
9	定例会	670	706	959	544	796	1,323	4,056
10		306	253	681	356	195	499	1,222
11		276	256	355	221	303	535	817
12	定例会	600	513	746	705	489	1,305	4,985
1		311	385	398	268	275	573	
2		267	368	496	351	667	511	
3	定例会	565	666	893	436	504	1,068	
合計		5,429	5,777	6,333	5,373	5,176	9,031	21,810
年度平均		543	481	528	448	431	753	2,423



議会ICT化に向けたタブレット研修会を行いました



令和2年11月に導入された議会タブレット端末の議会運用に向けて、オンラインでの研修会を実施しました。

議会運営や議員活動の更なる効率化を目指し、有効活用していきます。



3月定例会

定例会は3月・6月・9月・12月の、年4回開催されます。会議の開始時間は、いずれも午前10時の予定です。一般質問では、市政全般にわたって論議が展開されます。ここに記載のある委員会も傍聴できます。

※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、3月議会も引き続き傍聴の自粛をお願いしています。本会議は市公式ホームページから視聴してください。委員会のネット中継はありません。

3月定例会の日程

月 日	曜	会 議 日 程	摘 要
2月22日	月	告示日	議会運営委員会
3月2日	火	本会議 第1日目	開会、施政方針、教育行政方針、議案上程、説明
3月4日	木	本会議 第2日目	一般質問
3月5日	金	本会議 第3日目	一般質問
3月9日	火	本会議 第4日目	総括質疑、予算特別委員会設置、議案委員会付託
3月11日	木	予算特別委員会	付託案件審査
3月12日	金	予算特別委員会	付託案件審査
3月16日	火	総務建設委員会	付託案件審査
3月17日	水	福祉文教委員会	付託案件審査
3月24日	水	本会議 第5日目	委員長報告、委員長報告に対する質疑、討論、採決、閉会

編集後記

3月議会は、令和3年度予算案が市当局より上程されます。議員においては、令和2年度の事業結果等を踏まえて、その事業の必要性もですが、真に必要とされるところに、しっかりと妥当な額の予算配分がなされているのか。また、新規の事業については、将来の市民にとっても、有益となってくるものであるのか。そういった点に着目しながら、予算書に目を通させていただいております。令和3年度は、令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス関連対策も必要になると予想されますので、その点にも注視していきたいと思っております。また、議会からの広報、情報の出し方についても委員会において引きつづき検討していきたいと思っております。

広報広聴委員会 委員長